

研究キーワード

センサーネットワーク, インターネットアプリケーション, デジタルアーカイブ, メタデータ, IoT



今井 正和

IMAI, Masakazu

人間形成教育センター長
教授所属…人間形成教育センター, 経営学部 経営学科
大学院 環境経営研究科 経営学専攻

Profile

■主な担当科目 データベース

■研究者略歴

1982 (昭和57)	年 3月	大阪大学基礎工学部制御工学科卒業
1984 (昭和59)	年 3月	大阪大学大学院基礎工学研究科博士前期課程修了
1987 (昭和62)	年 3月	大阪大学大学院基礎工学研究科博士後期課程修了
1987 (昭和62)	年 4月	大阪大学助手基礎工学部
1991 (平成 3)	年 7月	大阪大学講師基礎工学部
1993 (平成 5)	年 4月	奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科助教授
1997 (平成 9)	年 9月	米国The University of Michigan客員助教授(～1998年7月)
2001 (平成13)	年 4月	鳥取環境大学環境情報学部情報システム学科教授
2003 (平成15)	年10月	放送大学客員教授(～2005年3月)
2005 (平成17)	年 4月	鳥取環境大学大学院環境情報学研究科環境情報学専攻教授
2012 (平成24)	年 4月	鳥取環境大学経営学部経営学科教授
2014 (平成26)	年 4月	鳥取環境大学人間形成教育センター センター長, 副学長補佐(教育・学生生活・就職担当)
2014 (平成26)	年 6月	鳥取環境大学情報メディアセンター 副センター長
2015 (平成27)	年 4月	公立鳥取環境大学人間形成教育センター センター長, 副学長補佐(教育担当, 学生生活・就職担当, 情報担当, 企画・評価担当), 情報メディアセンター 副センター長, 経営学部経営学科教授, 大学院環境情報学研究科環境情報学専攻教授
2016 (平成28)	年 4月	公立鳥取環境大学副学長(教育担当, 学生生活・就職担当, 情報担当, 企画・評価担当), 人間形成教育センター センター長, 経営学部経営学科教授, 大学院環境経営研究科経営学専攻教授
2017 (平成29)	年 4月	公立鳥取環境大学副学長(教育, 研究, 情報, 企画・評価担当), 人間形成教育センター センター長, 経営学部経営学科教授, 大学院環境経営研究科経営学専攻教授
2022 (令和 4)	年 4月	公立鳥取環境大学人間形成教育センター センター長, 経営学部経営学科教授, 大学院環境経営研究科経営学専攻教授

Research

■取得学位 工学博士(大阪大学)

■専門分野 インターネット応用, 環境計測, デジタルアーカイブ

■現在の研究テーマ

- ・ネットワークを使用した密な気象データの収集
- ・ネットワークを用いた場の共有
- ・情報の蓄積と活用

■受賞歴

- 1996 (平成 8) 年3月 電子情報通信学会第7回データ工学ワークショップ(DEWS'96) 最優秀論文賞
- 2004 (平成16) 年9月 電子情報通信学会情報システムソサエティ活動功労賞
- 2007 (平成19) 年1月 JGN2利用促進賞(地域貢献優秀賞)
- (JBプロジェクト, 地域間相互接続実験プロジェクトⅡ)
- 2008 (平成20) 年1月 JGN2アワード地域貢献・人材育成賞
- (JBプロジェクト, 地域間相互接続実験プロジェクトⅡ)
- 2015 (平成27) 年6月 中国情報通信懇談会 地域情報化貢献賞

■所属学会 IEEE, 電子情報通信学会, 情報処理学会, 人工知能学会, システム制御情報学会

Data

■研究等活動

【著書】

- ・「第15話 ロボコップの作り方ー脳とコンピュータの違い」, 地球環境時代のIT読本, 2002年, 丸善(共著)
- ・「第4章 電子図書館と分散大規模ネットワーク」, 電子図書館とマルチメディア・ネットワーク, 1996年12月, 日本図書館協会(共著)

【論文】

- ・「Implementation of high-definition lecture recording system for daily use」(共著), 2013年, Proc. of EDUCON2013, pp. 510-525
- ・「Live E!を活用した小学生の理科学習を支援するシステム」(共著), 2012年, インターネットコンファレンス2012論文集, pp.115-116
- ・「クラウド時代のデータ保存」(単著), 2012年, 印刷雑誌, Vol. 95, No. 3, pp.7-12
- ・「クラウド時代にどのようにデータを保存し, 残していくか」, 2011年, 画像4学会合同研究会「画像資産の復元と伝承」
- ・「講義ビデオの活用に向けた講義音声の発話特徴分析」(共著), 2011年, 情報処理学会教育学習支援情報システム研究会
- ・「鳥取・熊本での講義ビデオ遠隔自動収録の試みについて」(共著), 2010年, 情報処理学会教育学習支援情報システム研究会
- ・「Live E!データ可視化アプリケーションの開発」(共著), 2009年, 電子情報通信学会インターネットアーキテクチャ研究会
- ・「Live E!センサの日南町への展開」(共著), 2009年, 電子情報通信学会インターネットアーキテクチャ研究会
- ・「空間的に密な温度変化を計測するシステムの構築」(共著), 2009年, 電子情報通信学会インターネットアーキテクチャ研究会
- ・「センサ設置場所が計測結果に与える影響」(共著), 2008年, 電子情報通信学会インターネットアーキテクチャ研究会
- ・「考古学写真のメタデータとそのデータベース構築への応用」(単著), 2008年, 情報処理学会デジタルドキュメント研究会
- ・「鳥取環境大学のセンサ設置についてー一日向のセンサ日陰のセンサー」(共著), 2007年, Live E! シンポジウム2007
- ・「メタデータを用いた考古学遺跡写真ライブラリの構築」(共著), 2007年, 日本情報考古学会誌「情報考古学」, Vol. 13, No. 1
- ・「地域ネットワークを利用した高校への遠隔授業」(単著), 2007年, 第8回 インターネットテクノロジーワークショップ
- ・「考古学写真デジタルライブラリ」(共著), 2007年, 第8回 インターネットテクノロジーワークショップ
- ・「An Experiment Using JGN v6 at Tottori University of Environmental Studies」(共著), 2004年, Proc. of SAINT 2004 Workshops
- ・「Hand Pose Estimation for Vision-based Human Interfaces」(共著), 2003年, IEEE Transactions on Industrial Electronics, Vol. 50, No. 4
- ・「考古学写真ライブラリの構築」(共著), 2002年, 日本情報考古学会誌「情報考古学」, Vol. 7, No. 2

■社会貢献活動

- ・鳥取県ICT活用教育推進協議会座長(2014年)
- ・鳥取市公文書管理のあり方等研究会委員長(2015年)
- ・鳥取県私立学校審議会会長(2016年～2023年)
- ・鳥取県教育審議会会長(2024年～)



研究キーワード

スケジューリング, マックスプラス代数, 離散

久保 奨

KUBO, Susumu

人間形成教育センター副センター長
(AI・数理・データサイエンス副専攻担当)
准教授

所属…人間形成教育センター, 経営学部 経営学科
大学院 環境経営研究科 経営学専攻

s-kubo@kankyo-u.ac.jp

Profile

■主な担当科目 情報リテラシ2, データサイエンス, データサイエンス実践演習, AMD実践演習A

研究者略歴

2003 (平成15) 年 3月	東京大学工学部物理工学科卒業
2005 (平成17) 年 3月	東京大学大学院数理学研究科数理科学専攻修士課程修了
2005 (平成17) 年 4月	総務省(統計局, 総合通信基盤局など, 内閣府など)にも出向〜2020年6月)
2018 (平成30) 年 3月	東京大学大学院工学系研究科先端学際工学専攻博士課程修了, 博士(学術)
2020 (令和 2) 年 7月	公立鳥取環境大学人間形成教育センター准教授(〜現在)
2021 (令和 3) 年 4月	公立鳥取環境大学経営学部経営学科准教授(〜現在)
2024 (令和 6) 年 4月	公立鳥取環境大学大学院 環境経営研究科経営学専攻准教授(〜現在)
2024 (令和 6) 年 4月	公立鳥取環境大学人間形成教育センター副センター長(〜現在)

Research

■取得学位 博士(学術)(東京大学)

■専門分野 オペレーションズ・リサーチ, 応用数学

■現在の研究テーマ ・マックスプラス代数を用いたスケジューリング問題の理論的研究
・マックスプラス代数の性質に関する研究

■受賞歴 2024年11月 FIT船井ベストペーパー賞(情報処理学会)

■所属学会 日本応用数理学会, 日本数学会, 情報処理学会

Data

研究等活動

【著書】

・「データサイエンス発展演習: 日本統計学会公式認定統計検定データサイエンス発展対応」(共著), 2024年, 東京図書

【論文】

- ・「Composition orderings for linear functions and matrix multiplication orderings」(共著), 2024年, 35th International Symposium on Algorithms and Computation, LIPIcs, Volume 322
- ・「一次関数の合成順と行列の積順」(共著), 2024年, 情報科学技術フォーラム講演論文集, Volume 23(1)
- ・「An algebraic expression of the number partitioning problem」(共著), 2020年, Discrete Applied Mathematics, Volume 285
- ・「Basic r-symmetric tropical polynomials」, 2019年, Journal of Pure and Applied Algebra, Volume 223
- ・「Applications of max-plus algebra to flow shop scheduling problems」(共著), 2018年, Discrete Applied Mathematics, Volume 247

【口頭発表】

- ・「Composition Orderings for Linear Functions and Matrix Multiplication Orderings」, 2024年, The 35th International Symposium on Algorithms and Computation
- ・「行列の積順問題」, 2024年, 公立鳥取環境大学応用数理研究交流会
- ・「一次関数の合成順と行列の積順」, 2024年, 第23回情報科学技術フォーラム
- ・「分割問題の構造解析」, 2023年, 公立鳥取環境大学応用数理研究交流会
- ・「マックスプラス代数と組合せ最適化問題」, 2022年, モビリティ基盤数理ユニット
- ・「max-plus代数における対称式」, 2021年, 日本応用数理学会年会
- ・「max-plus代数とスケジューリング問題」, 2018年, 日本応用数理学会年会

【MISC】

- ・統計寸評「確率変数の再考」, 月刊誌「統計」75(10), 2024年10月
- ・書評「実践 自分で調べる技術」宮内泰介・上田昌文著, 月刊誌「統計」72(9), 2021年9月
- ・Pythonで機械学習入門〜分類を事例に〜, ESTRELA 327, 2021年6月
- ・英国王立統計学会Significanceから「地球から太陽までの距離は?」, 月刊誌「統計」70(2), 2019年2月

【その他】

- ・令和4年度モビリティ基盤数理研究ユニット 研究協力者, 京都大学・トヨタ自動車
- ・令和2年度卓越研究員(マックスプラス代数を用いた離散最適化問題の理論的研究), 文部科学省

社会貢献活動

- ・鳥取県教育研究大会(鳥取県探求成果等発表会) 審査会審査員, 2025年, 鳥取県
- ・鳥取湖陵高等学校情報科学科課題研究発表会の指導・助言, 2024年, 鳥取県
- ・鳥取県高校生理数科大研究等発表会審査会審査委員, 2024年, 鳥取県
- ・統計情報活用講座の研修講師, 2023年, 鳥取県
- ・科学の甲子園ジュニア全国大会に向けた研修会講師, 2021年〜, 鳥取県
- ・県立高校・大学教員の教員交流事業(青谷高校での授業), 2020年〜, 鳥取県
- ・鳥取県小中高生プログラミングコンテスト最終審査委員, 2020年〜2023年, 一般社団法人鳥取県情報産業協会
- ・統計検定C B T委員会分科会委員, 2019年〜2024年, 一般財団法人統計質保証推進協会



研究キーワード

英語教育, コミュニケーション不安, 音響分析

中村 弘子

教授

NAKAMURA, Hiroko

所属…人間形成教育センター

URL www.kankyo-u.ac.jp/~h-nakamu/

Eメール h-nakamu@kankyo-u.ac.jp

Profile

■主な担当科目 Intensive English

研究者略歴

1985 (昭和60) 年 3月	神戸市外国語大学外国語学部英米学科卒業
1988 (昭和63) 年 3月	神戸市外国語大学大学院外国語学研究所修士課程英語学専攻修了
1988 (昭和63) 年 8月	米国イリノイ州立南イリノイ大学大学院修士課程言語障害学科入学
1989 (平成 元) 年 6月	国際ロータリー財団の奨学金給付期間終了後帰国
1990 (平成 2) 年 4月	パルモア学院専門学校専任教員
1991 (平成 3) 年 4月	大阪外国語大学外国語学部非常勤講師
2002 (平成14) 年 4月	筑波大学外国語センター非常勤講師
2003 (平成15) 年 9月	米国コネチカット州立コネチカット大学コミュニケーション・サイエンス研究科修士課程入学
2004 (平成16) 年 6月	米国コネチカット州立コネチカット大学コミュニケーション・サイエンス研究科修士課程修了
2009 (平成21) 年 9月	鳥取環境大学人間形成教育センター准教授
2015 (平成27) 年 4月	公立鳥取環境大学人間形成教育センター准教授
2024 (令和 6) 年 4月	公立鳥取環境大学人間形成教育センター教授

Research

■取得学位	学術博士 (神戸大学), 文学修士 (神戸市外国語大学), Master of Arts (コネチカット大学)
■専門分野	英語教育, 応用言語学, 言語障害
■現在の研究テーマ	・日本人のコミュニケーション不安と外国語学習不安 ・日本人のコミュニケーション不安に関する音響学的分析 ・言語リズムの習得と母語の干渉について
■受賞歴	1988年 国際ロータリー財団大学院留学奨学生
■所属学会	大学英語教育学会, 外国語教育メディア学会, 日本音声学会, ことばの科学会
■資格	実用英語技能検定1級, TOEIC®スコア950点, 高等学校教諭専修免許状 (英語)

Data

研究等活動

- 【著書】
- 「大学・高専・短大生のための英文法再入門」(分担執筆), 2019, 開拓社
 - 「文法の獲得」(分担執筆), 2007, 『ことばの認知と仕組み—ことばの科学の最前線』三省堂
 - 「一語文期における母国語の影響に関する一考察—bye-bye vocalizationの日米比較」(分担執筆)『ことばの心理と学習』1998, 金星堂
- 【論文】
- Effects of Personality Traits and Affective Factors on English Prosodic Features in Japanese University Students: Acoustic and Physiological Analyses. (共著) 2024, *JACET Selected Paper 10, 101-131*.
 - Effects of L1 and L2 communication apprehension on speaking skills of Japanese university students. (共著) 2023, *English Language Teaching, 16(5), 1-9*.
 - 「L1およびL2における情意要因が英語朗読時の心拍数や韻律的特徴に与える影響」(共著), 2023, 『ことばの科学研究』第24号, 55-76.
 - 「性格的特性および情意要因が日本人大学生のスピーキング・スキルに及ぼす影響」, 2022, 『ことばの科学研究』第23号, 23-41.
 - An acoustic study of communication apprehension during English oral presentations by Japanese university students (共著) 2020, *English Language Teaching, 13(8), 178-184*.
 - 「文法基礎知識と英文読解力の向上」(2018), 『英語学論説資料』第50号 論説資料保存会
 - 「母語でのコミュニケーション不安が英語学習に及ぼす影響について」2016, 『ことばの科学研究』第16号
 - A comparative study of vocal fundamental frequency in the speech of Japanese and American hearing-impaired children (共著) 2007, *Logopedics, Phoniatrics, Vocology, 32, 17-22*.
 - Effect of ambient language in the period of first words: bye-bye vocalizations of Japanese and American children. (共著) 2000, *Asia Pacific Journal of Speech, Language, and Hearing, 5(1), 35-43*.
- 【翻訳】
- 「人間の動機づけと感情における認知」(分担執筆), 2002, 『感情の社会生理心理学』金子書房
- 【辞典】
- 「スピーキングのモデル」「サーキットモデル」「ロゴジェンモデル」「サーチモデル」他, 2003, 『応用言語学辞典』, 研究社
- 【国際会議】
- Effects of personality traits and affective factors on English prosodic features in Japanese university students: Acoustic and physiological analyses. 2024, *The 63rd JACET International Convention*, Nagoya, Japan
 - Effects of personality traits and affective factors of Japanese university students on English prosodic features: Acoustic and physiological analyses. 2023, *The 62nd JACET International Convention*, Tokyo, Japan
 - An acoustic study on the effects of personality traits and affective factors on speaking skills of Japanese university students. 2022, *The 61st JACET Online International Convention*.
 - The effect of affective factors on L2 proficiency. 2021, *PronSIG's Online Conference for International Association of Teachers of a Foreign Language*, London, England
 - FO Analysis for the Oral Presentation in English by Japanese University Students. 2017, *Asian Pacific Conference on Speech, Language and Hearing*, International University of Health and Welfare, Narita, Japan
 - Communication Apprehension and L2 Learning Anxiety in Japanese, Korean, and Taiwanese University Students. (共著), 2013, *Asian Pacific Conference on Speech, Language and Hearing*, Chung Shan Medical University, Taichung City, Taiwan
 - L1 Communication Apprehension among Asian University Students. 2011, *Asian Pacific Conference on Speech, Language and Hearing*, Christchurch, New Zealand
- 社会貢献活動
- 文部科学省「大学の国際化促進フォーラム」支援シンポジウム, 2023年12月
 - 全国語学教育学会 (JALT) 鳥取支部役員(2022年12月~)
 - 高円宮杯英語弁論大会鳥取予選副審査委員長 (2024年10月)
 - 放送大学鳥取学習センター面接授業担当 (2019年11月~12月; 2023年5月)
 - 「授業に役立つ英語音声学」, 2014年~2020年, 8月, 教員免許状更新講習
 - 「TOEICセミナー」, 2012年10月~11月, 2014年9月, 2016年, 8月~9月, 2019年, 9月, 2021年, 2月~3月, 公立鳥取環境大学公開講座
 - 第30回兵庫県高校生英語スピーチコンテスト但馬支部予選審査委員長, 2015年10月
 - 「東アジアの英語教育とコミュニケーション不安について」, 2015年7月, 鳥取大学グローバル化社会における多文化共生のための協働力養成プログラム
 - 公益信託とりぎん青い鳥基金運営委員 (2014年9月~2020年3月)



研究キーワード

非ネイティブの意識, 順番勉強法

徳山 瑞文

教授

TOKUYAMA, Mizufumi

所属…人間形成教育センター

 tokuyama@kankyo-u.ac.jp

Profile

■主な担当科目 Intensive English 1, 2, 3, 4, 6, 8

研究者略歴

1987（昭和62）年 7月 中国東北師範大学外国語学部英語学科卒業

1987（昭和62）年 7月 中国吉林省教育学院 英語教師

1999（平成11）年 4月 鳥取県立青谷高等学校にて日本文部省JETプログラムの外国語助手（ALT）

2003（平成15）年 3月 鳥取大学大学院教育学部教育学研究科教科英語教育修了

2003（平成15）年 4月 鳥取環境大学 英語非常勤講師

2017（平成29）年 4月 鳥取環境大学 英語特任講師

2019（平成31）年 4月 公立鳥取環境大学 人間形成教育センター 教授

Research

■取得学位 教科教育修士（鳥取大学）

■専門分野 英語教育

■現在の研究テーマ
・日本人の英語勉強法に関する研究
・英語能力の尺度「CEFR」に関する研究

■受賞歴 1998年9月 中国吉林省教育学院 青年優秀教師賞

■所属学会 日本全国英語教育学会, 中国地区英語教育学会

■資格 中国大学教師資格

人間形成教育センター

Data

研究等活動

【報告書】

・「Is It Necessary to Use "All English" for the Classes of ESL?」2015年, 中国地区英語教育学会

【論文】

・「English Education of the New Century in Japan -- Examination of ALT's Functions through the Analyses of Junior High School New Textbooks and the New Strategies of English Education」, 2003年, 「鳥取大学英語研究」第4号

社会貢献活動

・2013年1月から2017年3月の間, 鳥取NHK文化センターにて英会話教室教師



研究キーワード

構成的数学, モデル検査, 定理証明

吉田 聡

教授

YOSHIDA, Satoru

所属…人間形成教育センター

<http://misc.kankyo-u.ac.jp/~satoru-y/>

Profile

■主な担当科目 数理基礎, 微分積分学, 離散数学

研究者略歴

2003 (平成15) 年 3月	北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科博士後期課程 修了
2003 (平成15) 年 4月	石川県立松任高等学校臨時的任用講師
2005 (平成17) 年 8月	産業技術総合研究所・産総研特別研究員
2009 (平成21) 年 8月	鳥取環境大学情報システム学科講師
2013 (平成25) 年10月	鳥取環境大学人間形成教育センター准教授
2018 (平成30) 年 4月	公立鳥取環境大学情報メディアセンター副センター長
2020 (令和 2) 年 4月	公立鳥取環境大学副学長補佐
2021 (令和 3) 年 4月	公立鳥取環境大学人間形成教育センター副センター長
2022 (令和 4) 年 4月	公立鳥取環境大学人間形成教育センター教授

Research

■取得学位 博士 (情報科学) (北陸先端科学技術大学院大学)

■専門分野 数理論理学

■現在の研究テーマ
・解析学理論の計算可能性の研究
・数理的技法によるコンピュータシステムの検証に関する研究

■所属学会 日本数学会, 日本科学哲学会

人間形成教育センター

Data

研究等活動

【報告書】

- ・「A note on upper continuity properties of relations」(共著), Rep. Fac. Sci. (鹿児島大学), vol. 54(2021), pp.1-7.
- ・「A note on continuity properties of relations」(共著), 2019年, Rep. Fac. Sci. (鹿児島大学), vol.52, pp.1-6.
- ・「On a certain discontinuous mapping as a continuous relation」(共著), 2018年, 京都大学数理解析研究所講究録2083, pp150-155.
- ・「ソフトウェア更新システムプロトコルの様相論理S4に基づく検証」, 2016年, 公立鳥取環境大学紀要, vol. 14, pp.95-103.

【口頭発表】

- ・「choice と lambda-tequique」, 2023年9月, 第34回代数, 論理, 幾何と情報科学研究集会(ALGI), 湘南工科大学.
- ・「構成的解析学における関係の連続性」, 2021年8月, 第38回記号論理と情報科学 研究集会.
- ・「関係の各点連続性と点列連続性」, 2020年2月, 第7回山陰基礎論・解析学研究集会, 米子コンベンションセンター.
- ・「システム開発の基盤となる能力育成への大学教育の試み」, 2017年9月, Tsukuba Software Science Seminar, 産業技術総合研究所.
- ・「構成的数学の体系と実践」, 2017年6月, 第179回数学文献を読む会, 共立出版社.
- ・「様相論理S4に基づくプロトコル検証」, 2016年8月, 第27回代数, 論理, 幾何と情報科学研究集会(ALGI), 信州大学.

社会貢献活動

- ・鳥取大学地域創成プログラム推進委員, 2020, 2021年度.
- ・鳥取県立八頭高等学校「探求ゼミ」講師, 2016年度～2024年度, 鳥取県立高等学校・大学教員交流事業.
- ・鳥取県中高生プログラミングコンテスト (主催: 鳥取県情報産業協会) 審査員, 2024年度.
- ・鳥取大学附属幼稚園学校評議員, 2023, 2024年度



研究キーワード

発音, 談話イントネーション, コミュニケーション能力

バンヴィル ショーン

准教授

BANVILLE, Sean

所属…人間形成教育センター

URL <https://breakingnewsenglish.com/>

E-mail banville@kankyo-u.ac.jp

Profile

■ 主な担当科目 Intensive English 1, 2, 3, 5, 7

研究者略歴

1987 (昭和62) 年 6月	カーディフ大学, ウェールズ, UK 卒業 (学士: 会計学)
1993 (平成 5) 年 7月	ブリティッシュカウンシル, トルコ 卒業
1994 (平成 6) 年 1月	エンサイクロピーディア プリタニカ (神戸) 入社 (ナショナル ティーチャー トレーナー, スクールマネー)
1998 (平成10) 年 1月	プリンスフォード イングリッシュ カレッジ (大阪) 入社 カリキュラムデザイン, カレッジマネージャー, ティーチャートレーナー
2003 (平成15) 年 9月	バーミンガム大学 イギリス 修了 (修士: TEFL/TESL)
2006 (平成18) 年 1月	Higher Colleges of Technology ファンデーションコース チームリーダー アブダビ女子大学・カリキュラムデザイン, オンラインレッスン アラブ酋長国連邦・ブレンディッドラーニング チームリーダー
2016 (平成28) 年 4月	公立鳥取環境大学 非常勤講師
2016 (平成28) 年 4月	鳥取大学 非常勤講師
2020 (令和 2) 年 4月	公立鳥取環境大学 人間形成教育センター 特任准教授

Research

■ 取得学位 会計学 (学士) (カーディフ大学 ウェールズ)
TEFL/TESL (修士) (バーミンガム大学 イギリス)

■ 専門分野 英語教育

■ 現在の研究テーマ ・ How a Discourse Intonation approach can advance communicative pronunciation and communicative competence and performance.

■ 受賞歴 Nominated for ブリティッシュ・カウンシル award for Innovation in Learner Resources

■ 所属学会 Japanese Association of Language Teachers (JALT)

■ 資格 RSA CTEFLA

Data

研究等活動

【著書】

- ・「Lessons on Japan 1 - Listening & Speaking」(原著者) Sean BANVILLE, 2025年, Imaishoten, ISBN 978-4-86611-429-3
- ・「Lessons on Japan 1 - Reading & Writing」(原著者) Sean BANVILLE, 2025年, Imaishoten, ISBN 978-4-86611-430-9
- ・「Breaking News Listening Student Book」(共著) Nobuhiro Kumai, Stephen Timson, Sean Banville, 2010年, MacMillan Language House
- ・「Bringing News Into The Classroom」, 2010年, Finding Your Voice:Critical Issues in ELT. TESOL Arabia Publications

【口頭発表】

- ・ ChatGPT - A Threat or a Productive Tool? JALT, Tottori. March 2023
- ・ Role Plays - Activities with the Potential to Teach Everything. JALT, Tottori. June 2017
- ・ What's news? ISTEK ELT Conference: Istanbul, Turkey. April, 2010
- ・ Punctuation Communicates. Cultivating Real Writers Conference, Al Ain, UAE. October, 2009
- ・ Using mp3 Files in the Classroom. TESOL Arabia, Dubai, UAE. March, 2009
- ・ Bringing News Into The Classroom. TESOL Arabia, Dubai, UAE. March, 2008

【開発した教材等】

- Breaking News English.com
1. <https://BreakingNewsEnglish.com>
時事ニュースを基にした2,850+の4技能インタラクティブレッスンと27ページのワークシート。
2. <https://ESLDiscussions.com>
709のトピックに関するディスカッションのプリント (14180の質問含む)。
3. <https://ESLHolidayLessons.com>
世界の祝日についての199のレッスン。
4. <https://FamousPeopleLessons.com>
有名人についての167の4技能レッスン。
5. <https://ListenAMinute.com>
1分のリスニング教材を基にした479のレッスン。
6. <http://www.NewsEnglishLessons.com>
7. <http://www.FreeESLMaterials.com>
8. <http://www.LessonsOnMovies.com>
映画についての4技能レッスン
9. <https://BusinessEnglishMaterials.com>
世界の企業についての102の4技能レッスン。
10. <http://www.LessonsOnAmericanPresidents.com>
アメリカの歴代大統領についての4技能レッスン。

社会貢献活動

- ・ Chief Judge at Chugoku High School Speech Contest. Tottori. November, 2024
- ・ Taught deomnstration English lesson to Chubu high school teachers. Higashi Kurayoshi Senior High School. October 2024
- ・ Chief Judge at Higashi Kurayoshi Senior High School Speech Contest. March, 2024



研究キーワード

生成AI, 大規模言語モデル

市丸 夏樹

准教授

ICHIMARU, Natsuki

所属…人間形成教育センター

<http://misc.kankyo-u.ac.jp/~ichimaru/>

ichimaru@kankyo-u.ac.jp

Profile

■主な担当科目 情報リテラシ1・2, プロジェクト研究1～7, (経営学部)専門演習1～3

■研究者略歴

1990 (平成 2) 年 3月	九州大学工学部電子工学科卒業
1992 (平成 4) 年 3月	九州大学大学院総合理工学研究科情報システム学専攻 博士前期課程修了
1995 (平成 7) 年 3月	九州大学大学院総合理工学研究科博士後期課程単位取得退学
1995 (平成 7) 年 4月	九州大学工学部情報工学科助手
1998 (平成10) 年 4月	九州大学大学院システム情報科学府兼任
2006 (平成18) 年 4月	鳥取環境大学環境情報学部情報システム学科講師
2007 (平成19) 年 4月	鳥取環境大学大学院環境情報学研究科環境情報学専攻情報システム領域兼務
2008 (平成20) 年 4月	鳥取環境大学環境情報学部情報システム学科准教授
2012 (平成24) 年 4月～	鳥取環境大学人間形成教育センター准教授
2015 (平成27) 年 4月～	公立鳥取環境大学人間形成教育センター准教授

Research

■取得学位 博士 (工学) (九州大学)

■専門分野 自然言語処理, 計算言語学

■現在の研究テーマ

- ・サブワードトークナイザでの接辞処理
- ・自動要約
- ・文章の評価属性判別
- ・MS-Officeファイルの自動採点

■所属学会 人工知能学会, 情報処理学会

人間形成教育センター

Data

■研究等活動

【論文】

・ "Thesaurus Granularity and it's effects on the Kana/Kanji Transliteration of Japanese Derivative Words", 2013年9月, In proceedings of the *International Conference of Pacific Association for Computational Linguistics* PACLING2013.



研究キーワード

パターン認識, 機械学習, サイバーフィジカルシステム

堀 磨伊也

HORI, Maiya

サステナビリティ研究所副所長 准教授

所属…人間形成教育センター, 経営学部経営学科, 環境学部環境学科
大学院 環境経営研究科 環境学専攻, 大学院 環境経営研究科 経営学専攻

URL <https://researchmap.jp/read0142517>

E-mail m-hori@kankyo-u.ac.jp

Profile

■主な担当科目 AI, 画像処理, パターン認識

■研究者略歴

2005 (平成17) 年 3月	大阪大学基礎工学部システム科学科 卒業
2007 (平成19) 年 3月	奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科博士前期課程 修了
2011 (平成23) 年 6月	奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科博士後期課程 修了, 博士 (工学)
2011 (平成23) 年 7月	鳥取大学大学院工学研究科 プロジェクト研究員
2015 (平成27) 年 4月	九州大学共進化社会システム創成拠点 学術研究員
2017 (平成29) 年10月	九州大学大学院システム情報科学研究院 助教
2018 (平成30) 年 4月	九州大学エネルギー研究教育機構 准教授
2022 (令和 4) 年 4月	公立鳥取環境大学人間形成教育センター 准教授
2023 (令和 5) 年 4月	公立鳥取環境大学経営学部経営学科 准教授 (兼任)
2023 (令和 5) 年 4月	公立鳥取環境大学サステナビリティ研究所副所長
2024 (令和 6) 年 4月	公立鳥取環境大学環境学部環境学科 准教授 (兼任)

Research

■取得学位 博士 (工学) (奈良先端科学技術大学院大学)

■専門分野 情報科学

■現在の研究テーマ

- ・予測モデルの不確実性を考慮したエネルギーマネジメントシステムの構築
- ・カメラ動画画像を用いた深層学習による人流分析
- ・予測モデルの局所的解釈に基づくオンデマンドバスの運行最適化

■受賞歴

2022 (令和4) 年3月 電気通信普及財団賞 (テレコム学際研究賞)
2018 (平成30) 年12月 ITSシンポジウム ベストポスター賞
2010 (平成22) 年7月 マルチメディア, 分散, 協調とモバイル (DICOMO) シンポジウム 優秀論文賞

■所属学会 電子情報通信学会, 情報処理学会, 電気学会, IEEE

■資格 脱炭素アドバイザーベーシック

Data

■研究等活動

【論文】

- ・「A Multi-Layer Techno-Economic-Environmental Energy Management Optimization in Cooperative Multi-Microgrids with Demand Response Program and Uncertainties Consideration」(共著), 2024, Scientific Reports
- ・「Inequality for the variance of an asymmetric loss」(共著), 2023, Journal of Mathematical Inequalities
- ・「Developing Hybrid Demand Response Technique for Energy Management in Microgrid Based on Pelican Optimization Algorithm」(共著), 2023, Electric Power Systems Research
- ・「Energy Management of Microgrid Considering Demand Response Using Honey Badger Optimizer」(共著), 2022, Renewable Energy and Power Quality Journal
- ・「Developing an Artificial Hummingbird Algorithm for Probabilistic Energy Management of Microgrids Considering Demand Response」(共著), 2022, Frontiers in Energy Research
- ・「歩車混合空間内でのすれ違いによる相互作用の定量的解析に関する研究」(共著), 2021, 土木学会論文集D3 (土木計画学)
- ・「Measuring "Nigiwai" from pedestrian movement」(共著), 2021, IEEE Access
- ・「Event effects estimation on electricity demand forecasting」(共著), 2020, Energies
- ・「Reliable and rapid traffic congestion detection approach based on deep residual learning and motion trajectories」(共著), 2020, IEEE Access
- ・「Movement recommendation system based on multi-spot congestion analytics」(共著), 2020, Sustainability

【国際会議】

- ・「Power Disaggregation Considering the Interrelationship of Appliances Using CNNs」, 2022, IEEE PES T&D
- ・「Real-Time Learning Analytics Dashboard for Students in Online Classes」(共著), 2020, IEEE TALE (Best Student Paper Award)
- ・「Towards ICT based mobility support system with in the COVID-19 era: poster abstract」(共著), 2020, ACM SenSys

【報告書】

- ・マイクログリッドにおける複数の不確実性を考慮した強化学習による蓄電池の最適充放電制御 (共著), 2022, 計測自動制御学会 システム・情報部門学術講演会
- ・複数の駐車中EVを対象とした個別バッテリー充放電制御による施設の電力負荷平準化 (共著), 2022, 計測自動制御学会 システム・情報部門学術講演会
- ・オンデマンドバスの運行ルート最適化のための乗車リクエスト予測の効果の検証 (共著), 2021, ITSシンポジウム

【特許】

- ・特許7099771 歩行者の行動評価装置、歩行者の行動評価方法、及び、歩行者の行動評価プログラム
- ・特許7050356 人流評価装置、人流評価方法、及び人流評価プログラム

【外部資金獲得】

- ・科研費 (基盤研究(C)) 「予測モデルの局所的解釈に基づくオンデマンドバスの運行最適化」(代表者), 2022 ~ 2024年度

■社会貢献活動

- ・電子情報通信学会 英文論文誌D編集委員会 英文論文誌編集委員 (2021年~)
- ・鳥取県ビッグデータ活用検討会議委員 (2022年~)
- ・高校生ものづくりコンテスト中国地区大会 (電子回路組立部門) 審査員 (2024年)
- ・鳥取県公募型プロポーザル方式受注者選定等審査会委員 (2022年)
- ・画像の認識・理解シンポジウムMIRUインタラクティブ・デモ委員長 (2023年)
- ・情報処理学会 コンピュータビジョンとイメージメディア研究運営委員会 運営委員 (2019年~2022年)
- ・文部科学省 科学技術・学術政策研究所 科学技術専門家ネットワーク専門調査員 (2018年~2021年)



研究キーワード

多重ゼータ値, ルート系のゼータ関数, Schur多重ゼータ関数, グラフラムゼータ

門田 慎也

KADOTA, Shin-ya

講師

所属…人間形成教育センター

Profile

■主な担当科目 微分積分学, 線形代数学, 情報リテラシー 1

研究者略歴

2013 (平成25) 年 3月	愛媛大学理学部数学科 卒業
2015 (平成27) 年 3月	名古屋大学大学院多元数理科学研究科多元数理科学専攻博士課程(前期課程)修了, 修士(数理学)
2016 (平成28) 年10月	岐阜工業高等専門学校 非常勤講師(～2018年3月)
2018 (平成30) 年 3月	名古屋大学大学院多元数理科学研究科多元数理科学専攻博士課程(後期課程)修了, 博士(数理学)
2018 (平成30) 年 4月	新居浜工業高等専門学校数理科 助教(～2020年3月)
2020 (令和 2) 年 4月	新居浜工業高等専門学校数理科 講師(～2025年3月)
2023 (令和 5) 年 4月	十全看護専門学校 非常勤講師(～2025年3月)
2025 (令和 7) 年 4月	公立鳥取環境大学人間形成教育センター 講師

Research

■取得学位 博士(数理学) (名古屋大学)

■専門分野 解析的整数論

■現在の研究テーマ

- ・ルート系のゼータ関数の特殊値に関する研究
- ・多重ゼータ値の関係式に関する研究

■受賞歴 2013 (平成25) 年 3月 平成24年度三木奨学賞(愛媛大学)
2012 (平成24) 年11月 平成24年度秋季愛媛大学成績優秀賞(愛媛大学)

■所属学会 日本数学会

■資格 高等学校教諭専修免許状(数学)

Data

研究等活動

【著書】

・「ルート系のゼータ関数の理論入門」, 松本耕二, 記述:門田慎也, 監修:大野泰生, 千田雅隆, 2018年, 東北大学大学院理学研究科

【論文】

- ・「Sum formulas for Schur multiple zeta values」(共著), 2023年, Journal of Combinatorial Theory, Series A 200 105781-105781.
- ・「On the parity result for multiple Dirichlet series」, 2022年, Kyushu Journal of Mathematics 76(1) 1-11.
- ・「On a unified double zeta function of Mordell-Tornheim type」(共著), 2022年, Lithuanian Mathematical Journal 62(2) 207-217.
- ・「The graph Ramsey number $R(F_{\ell}, K_6)$ 」(共著), 2019年, Discrete Mathematics 342(4) 1028-1037.
- ・「Evaluation of Tornheim's type of double series」, 2017年, Illinois Journal of Mathematics 61 171-186.
- ・「Certain weighted sum formulas for multiple zeta values with some parameters」, 2017年, Commentarii Mathematici Universitatis Sancti Pauli 66 1-13.

【報告書】

- ・「On a unified double zeta function of Mordell-Tornheim type」(共著), 2023年, 数理解析研究所講究録2259 解析的整数論とその周辺.
- ・「On the special values of certain multiple Dirichlet series」, 2019年, 数理解析研究所講究録2131 解析的整数論とその周辺.
- ・「On the special values of the zeta function associated with simple Lie algebra type G_2 」(共著), 2018年, 数理解析研究所講究録2092 解析的整数論とその周辺.
- ・「多重ゼータ値に対するパラメータを含む重みつき和公式」, 2017年, 名古屋大学大学院 多元数理科学研究科 --2014年度 学生プロジェクト-- 鏡ヶ池の整数論セミナー報告集.
- ・「多重ゼータ値に対するパラメータを持つ重みつき和公式」, 2017年, 数理解析研究所講究録2014 解析的整数論とその周辺.
- ・「多重ゼータ値に対する少し変わった重みつき和公式」, 2015年, 北海道大学講究録162 第11回数学総合若手研究集会.

【講演・口頭発表】

- ・「On a unified double zeta function of Mordell-Tornheim type」, 2022年, RIMS Workshop 2022 Analytic Number Theory and Related Topics.
- ・「On a unified double zeta function of Mordell-Tornheim type」, 2021年, 第57回関西多重ゼータ研究会.
- ・「多重 Dirichlet 級数の特殊値がみたす性質に関するお話」, 2018年, 第43回関西多重ゼータ研究会.
- ・「On the special values of certain multiple Dirichlet series」2018年, Workshop 2018 Analytic Number Theory and Related Topics.
- ・「Weight が奇数の G_2 型ルート系のゼータ関数の特殊値についてのおはなし」, 2018年, 近畿大学数学教室講演会.
- ・「On the special values of the zeta function associated with simple Lie algebra G_2 type」, 2017年, 2017年度RIMS共同研究(公開型) 解析的整数論とその周辺.
- ・「 G_2 型ルート系のゼータ関数の特殊値について」, 2017年, 2017大分熊本整数論研究集会.
- ・「 G_2 型ルート系のゼータ関数の特殊値について」, 2017年, 第13回数学総合若手研究集会.
- ・「 G_2 型ルート系のゼータ値について」, 2017年, 第10回多重ゼータ研究集会&第34回関西多重ゼータ研究会(共同開催).
- ・「多重ゼータ値に対するパラメータを含む重みつき和公式について」, 2016年, 九大整数論セミナー.
- ・「等号つき多重ゼータ値に対するある種の重みつき和公式」, 2016年, 解析数論セミナー.
- ・「A weighted sum formula for multiple zeta values with some parameters」, 2015年, 2015年度RIMS研究集会 解析的整数論とその周辺.
- ・「多重ゼータ値に対するある種の重みつき和公式について」, 2015年, 第26回関西多重ゼータ研究会.
- ・「多重ゼータ値に対するある種の重みつき和公式」, 2015年, 日本数学会2015年度年会.
- ・「多重ゼータ値に対する少し変わった重みつき和公式」, 2015年, 第11回数学総合若手研究集会.
- ・「多重ゼータ値に対するパラメータを含む重みつき和公式」, 2015年, 鏡ヶ池の整数論セミナー.

社会貢献活動

- ・2024 (令和 6) 年11月 高専入試過去問題解説(数学) 講師
- ・2022 (令和 4) 年 7月 新居浜高専市民講座「折り紙と数学」 講師
- ・2020 (令和 2) 年 2月 えひめサイエンスチャレンジ2019 審査委員
- ・2019 (令和 元) 年11月 高専入試過去問題解説(数学) 講師
- ・2019 (平成31) 年 2月 えひめサイエンスチャレンジ2018 審査委員



研究キーワード

異文化間コミュニケーション, 異文化間能力文化交流, 文化多様性, ハイコンテキスト・ローコンテキスト

モウア ジェニファー

講師

MOUA, Jennifer

所属…人間形成教育センター

Profile

■主な担当科目 Advanced English 2, 4, 6, 8 and Intensive English 6

■研究者略歴

2014（平成22）年 5月	米国フラトンカレッジ芸術学部 芸術学科 卒業
2016（平成28）年 5月	米国カリフォルニア州立カリフォルニアフラトン大学芸術学部 芸術学科 卒業
2017（平成29）年 2月	三重サンシャインスクール英会話教師, 音楽教師
2020（令和 2）年12月	米国バイオラ大学大学院 国際文化学部 M.A. TESOL学科 卒業
2019（令和 1）年 7月	米国バイオラ大学レトリックおよびライティングセンター（Rhetoric and Writing Center）大学院生のコンサルティング
2020（令和 2）年 2月	米国ホープインタナショナル大学インターンシップ
2021（令和 3）年 4月	公立鳥取環境大学人間形成教育センター非常勤講師
2022（令和 4）年 4月	鳥取大学非常勤講師
2022（令和 4）年 4月	公立鳥取環境大学人間形成教育センター特任講師
2024（令和 6）年 4月	公立鳥取環境大学人間形成教育センター講師

Research

■取得学位 芸術学士（カリフォルニアフラトン大学） M.A. TESOL文学修士（バイオラ大学）

■専門分野 英語教育

■現在の研究テーマ ・ Intercultural Communication:How people from different cultures can connect,convey, and communicate.

■受賞歴 2019年5月 Clyde and Anna Belle Cook Scholarship Award

■所属学会 Biola TESOL Connection, Central Japan Language Teachers, Online Teaching Japan, Tottori JALT(Japan Association for Language Teaching)

■資格 アメリカ赤十字社救急法の資格, ハラスメント・差別防止の資格

Data

■研究等活動

【論文】

- ・ Top Ten Effective Reading and Writing Strategies 2020年 Biola University
- ・ NGSL and its Relation to Student Learning 2020年 Biola University
- ・ A Retrospective Analysis of My SLA Journey 2020年 Biola University